

カミネットEDI活用事例集

2009年10月1日

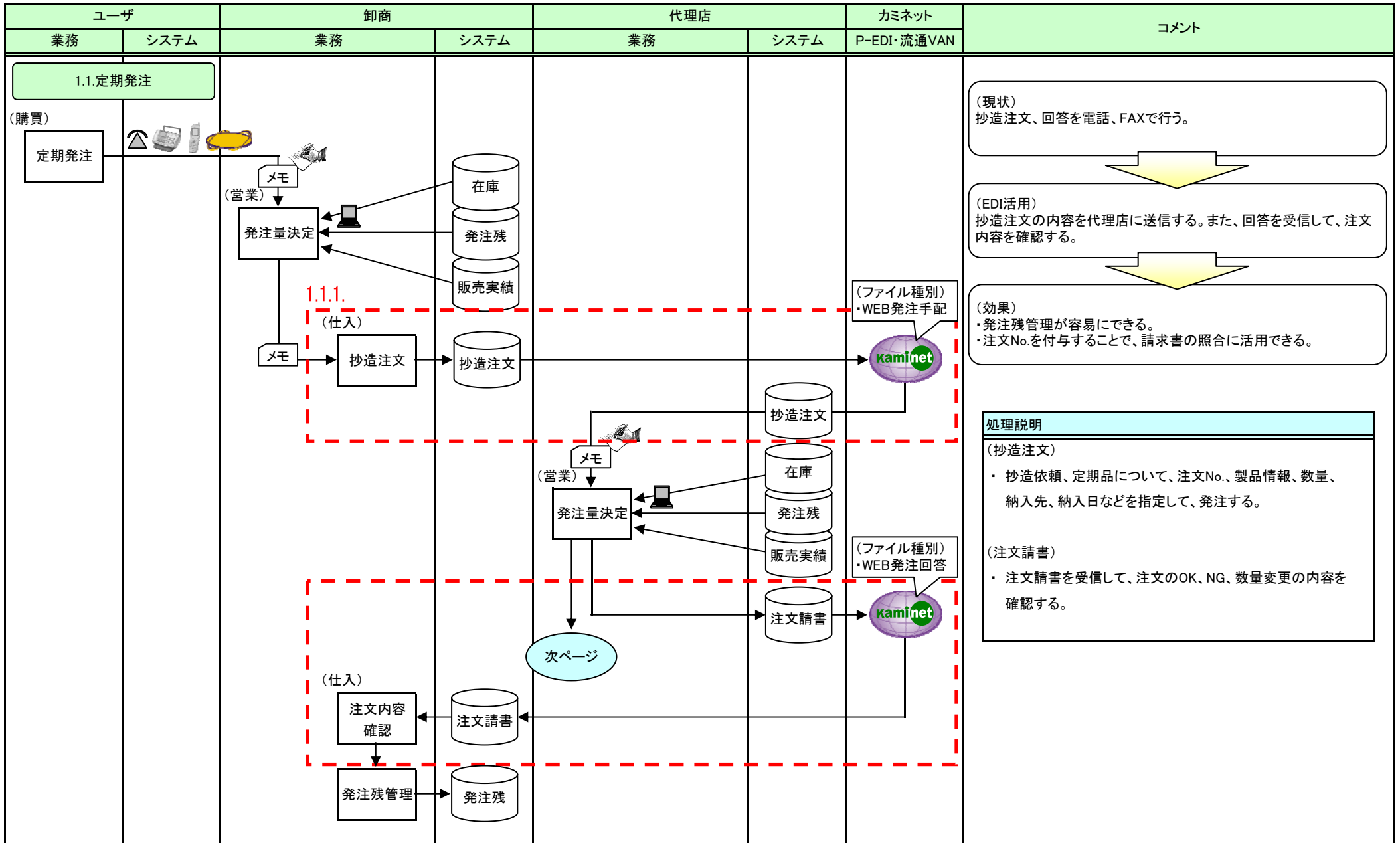
株式会社カミネット

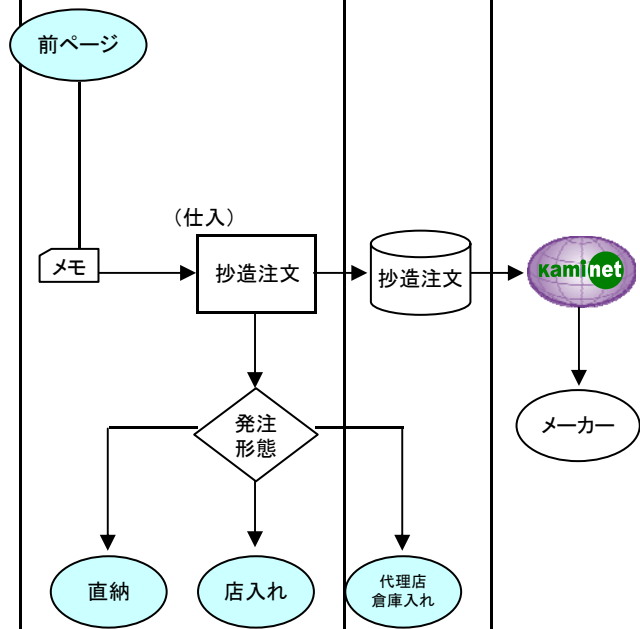
◆索引

業務名	業務名	内容	対象				サービス	ページ	
			卸商	代理店	物流	ユーザ			
1. 抄造注文	1.1. 定期発注	1.1.1. 抄造注文	卸商が、代理店に抄造注文、定期品の発注を行う。	○	○	-	-	メールボックス	3
	1.2. 直納	1.2.1. 直送売上の計上	代理店からの出荷案内をもとに直送売上进行する。	○	○	-	-	メールボックス	5
	1.3. 店入れ	1.3.1. 仕入計上(ケース1)	代理店からの出荷案内をもとに仕入を計上する。	○	○	-	-	メールボックス	6
		1.3.2. 仕入計上(ケース2)	物流会社からの入庫報告をもとに仕入を計上する。	○	○	○	-	メールボックス	7
1.4. 代理店倉庫入れ	1.4.1. 到着確認	代理店からの出荷案内をもとに代理店倉庫への到着を確認する。	○	○	-	-	メールボックス	8	
2. 受発注	2.1. 卸商在庫の活用	2.1.1. 売上計上	自社在庫を手配し、売上を計上する。	○	-	○	-	メールボックス	10
		2.1.2. 出庫、配送、断裁の依頼	物流業者や自社の物流倉庫に出庫、配送、断裁を依頼する。	○	-	○	-	メールボックス	9
		2.1.3. 仕切情報の連絡	前日発生した仕切情報を連絡する。	○	-	-	○	メールボックス	10
	2.2. 代理店在庫の活用	2.2.1. 在庫確認	卸商が代理店の在庫を確認する。	○	○	-	-	メールボックス	11
		2.2.2. 発注業務	卸商が代理店に発注を行う。	○	○	-	-	メールボックス	11
		2.2.3. 発注業務(オンラインサービス)	卸商が代理店に在庫確認、発注を行う。	○	○	-	-	オンライン	12
		2.2.4. 仕入、在庫計上、(売上計上)	発注、手配の回答をもとに、仕入、在庫、(売上)を計上する。	○	○	-	-	メールボックス	14
		2.2.5. 出庫、配送、断裁の依頼	物流業者や自社の物流倉庫に出庫、配送、断裁を依頼する。	○	○	-	-	メールボックス	14
		2.2.6. 売上計上	ユーザへの着荷をもって売上を計上する。	○	-	○	○	メールボックス	15
		2.2.7. 仕切情報の連絡	前日発生した仕切情報を連絡する。	○	-	-	○	メールボックス	15
	2.2. 代理店在庫の活用 専用ネット	2.2.4. 仕入、在庫計上、(売上計上)	発注、手配の回答をもとに、仕入、在庫、(売上)を計上する。	○	○	-	-	メールボックス	14
		2.2.5. 出庫、配送、断裁の依頼	物流業者や自社の物流倉庫に出庫、配送、断裁を依頼する。	○	○	-	-	メールボックス	14
		2.2.6. 売上計上	ユーザへの着荷をもって売上を計上する。	○	-	○	○	メールボックス	15
		2.2.7. 仕切情報の連絡	前日発生した仕切情報を連絡する。	○	-	-	○	メールボックス	15
3. 買掛照合	3.1. 買掛照合	3.1.1. 買掛金と請求の照合	買掛金と請求金額の照合を行う。	○	○	-	-	メールボックス	16
4. コード運用	4.1. 初期登録	4.1.1. 卸商が紐付けするケース	代理店の販売実績データを活用し、卸商がコードを紐付けする。	○	○	-	-	-	17
		4.1.2. 代理店が紐付けするケース	代理店の営業が卸商のコードを紐付けする。	○	○	-	-	-	18
	4.2. 日常運用	4.2.1. 日常の紐付け	仕切請求データを活用し、日常のコードの紐付けを実施する。	○	○	-	-	メールボックス	19

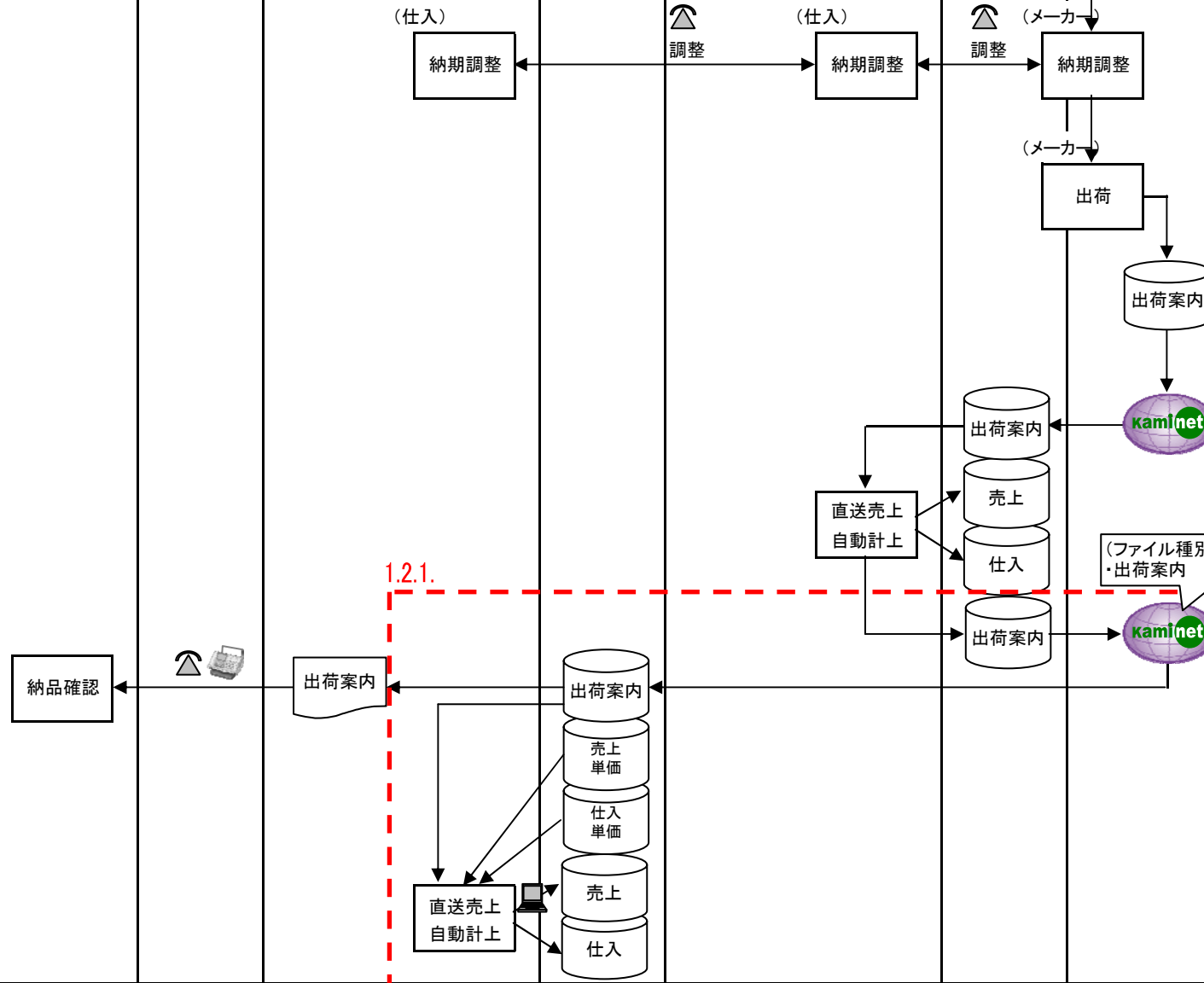
活用事例

業務名 1.抄造注文





1.2.直納



(現状)
納期を確定し、メーカー工場出荷の案内を代理店から電話、FAXで
もらい、直送売上、仕入を手入力で計上する。

(EDI活用)
納期を確定し、メーカー工場から出荷される際に送信される出荷案内
データを代理店経由で受信し、直送売上、仕入を自動計上する。

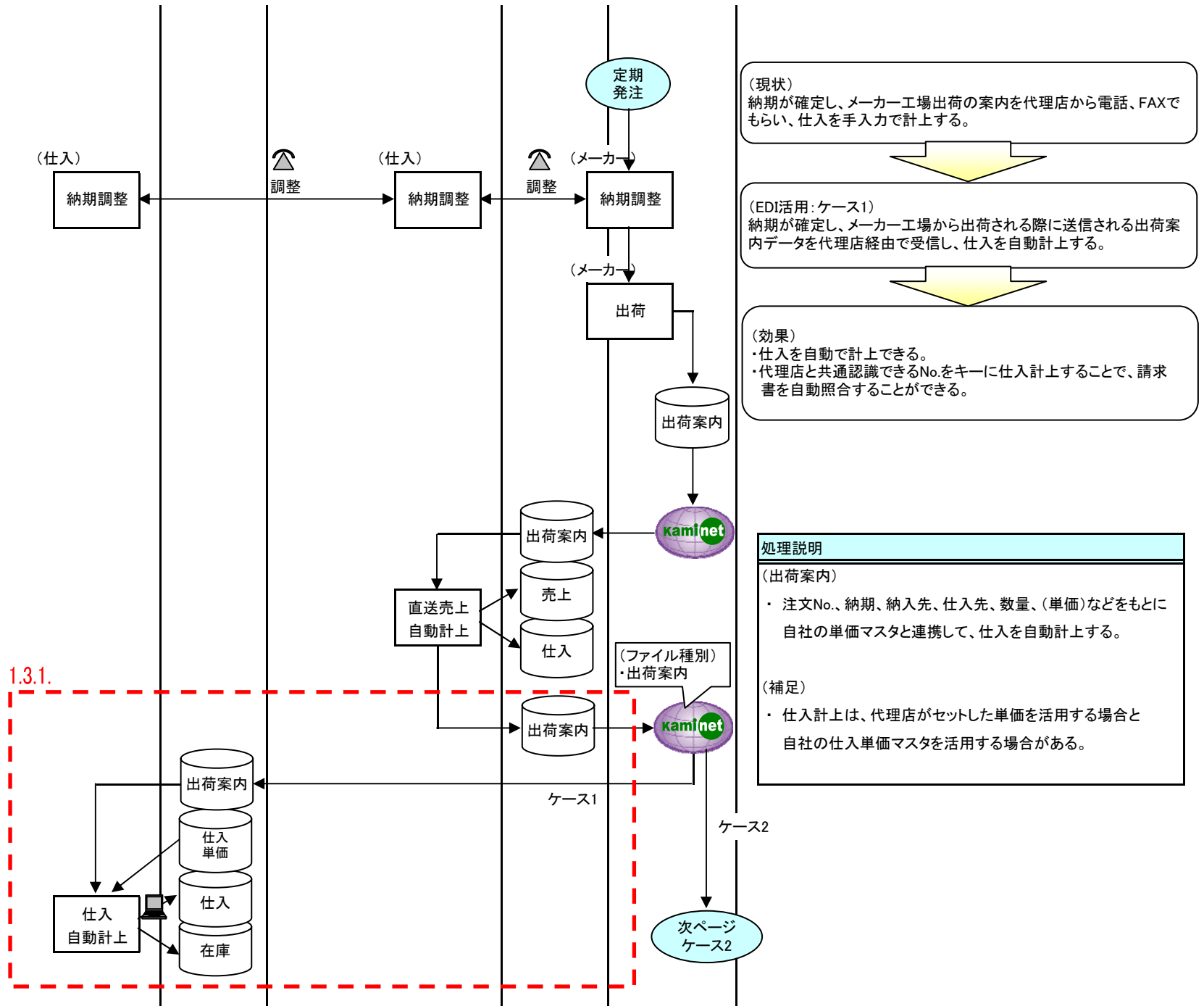
(効果)
・仕入、売上を自動で計上できる。
・代理店と共通認識できるNo.をキーに仕入計上することで、請求
書を自動照合することができる。
・ユーザと共通認識できるNo.をキーに売上計上することで、支払
明細を自動照合することができる。

処理説明

(出荷案内)
・注文No.、納期、納入先、仕入先、数量、(単価)などをもとに
自社の売上単価、仕入単価マスタと連携して、売上と仕入を
自動計上する。

(補足)
・仕入計上は、代理店がセットした単価を活用する場合と
自社の仕入単価マスタを活用する場合がある。

1.3.店入れ



(現状)
納期が確定し、メーカー工場出荷の案内を代理店から電話、FAXで
もらい、仕入を手入力で計上する。

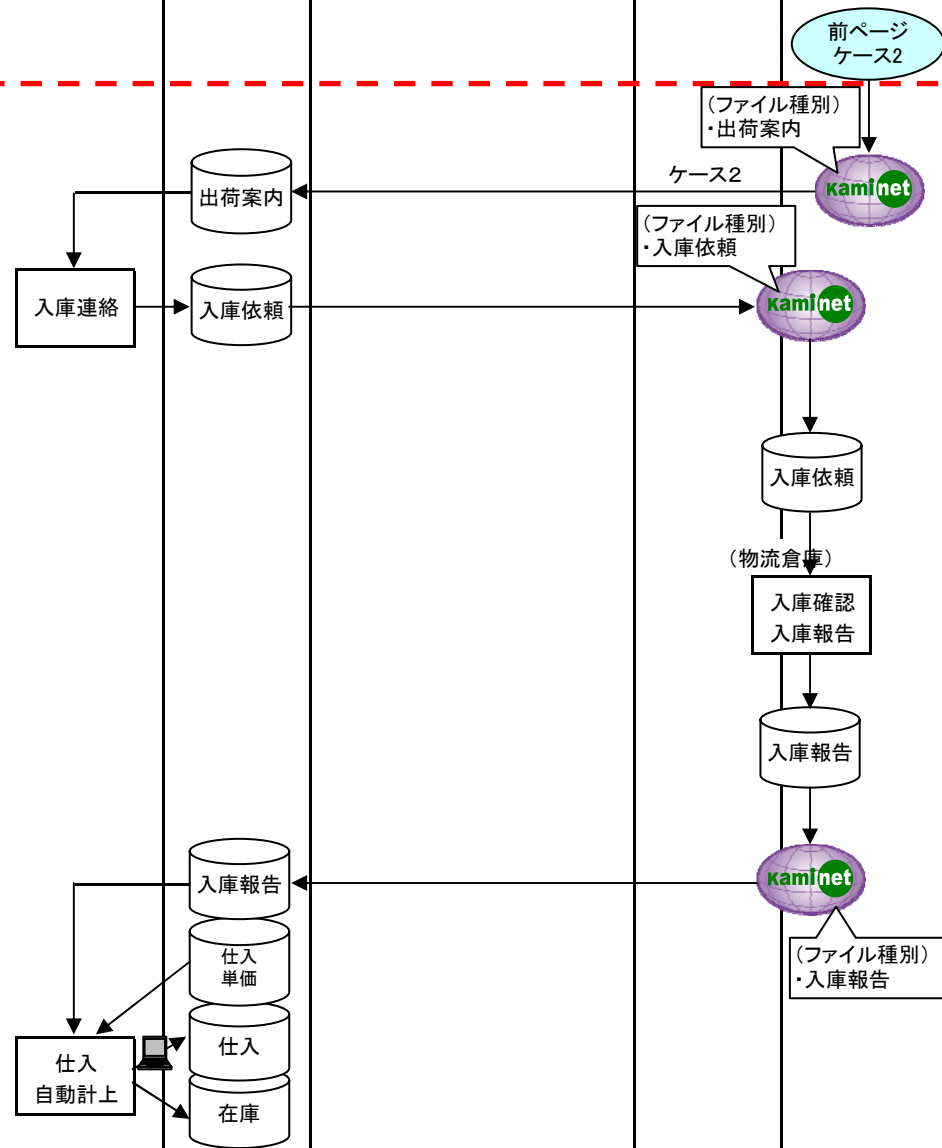
(EDI活用: ケース1)
納期が確定し、メーカー工場から出荷される際に送信される出荷案内
データを代理店経由で受信し、仕入を自動計上する。

(効果)
・仕入を自動で計上できる。
・代理店と共通認識できるNo.をキーに仕入計上することで、請求
書を自動照合することができる。

1.3.1.

1.3.店入れ

1.3.2.



(現状)
納期が確定し、メーカー工場出荷の案内を代理店から電話、FAXで
もらい、仕入を手入力で計上する。



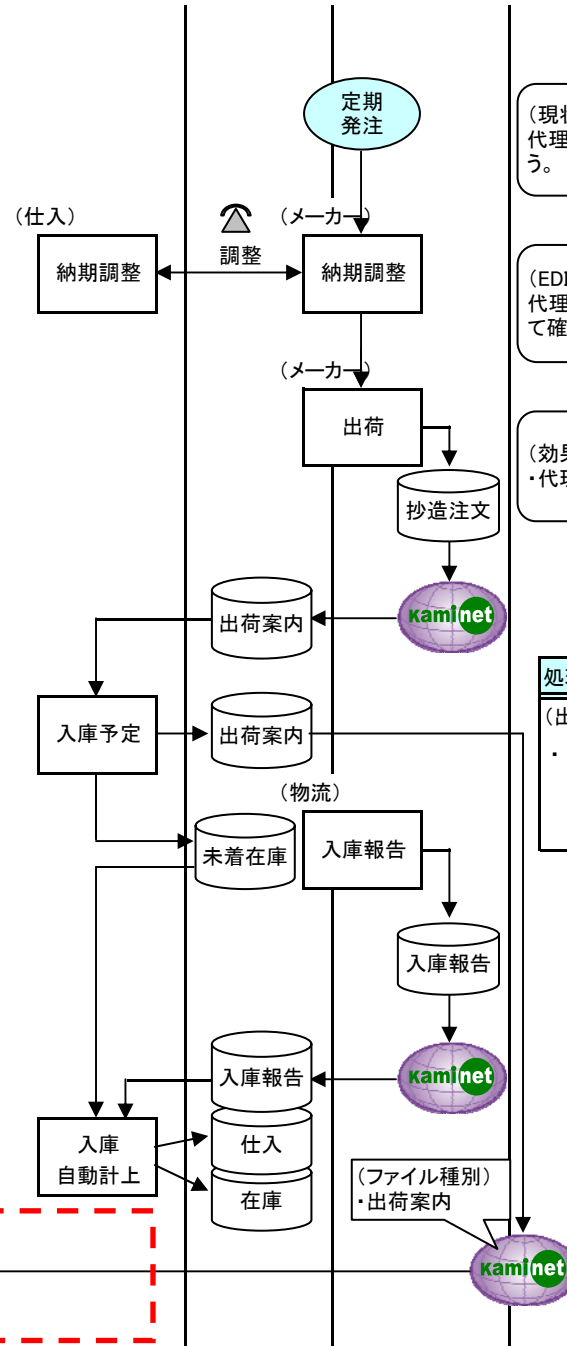
(EDI活用: ケース2)
納期が確定し、メーカー工場から出荷される際に送信される出荷案内
データを代理店経由で受信する。入庫の連絡として、物流倉庫に
入庫連絡を送信し、入庫が完了した報告データを受信して、仕入を
自動計上する。



(効果)
・仕入を自動で計上できる。
・代理店と共通認識できるNo.をキーに仕入計上することで、請求
書を自動照合することができる。

処理説明
(出荷案内) ・ 注文No.、納期、納入先、仕入先、数量、(単価)などをもとに 自社の単価マスタと連携して、仕入予定として自動計上する。
(入庫依頼) ・ 出荷案内の情報をもとに入庫依頼データを作成し、送信する。
(入庫報告) ・ 注文No.などを活用して仕入を自動計上する。
(補足) ・ 仕入計上は、代理店がセットした単価を活用する場合と 自社の仕入単価マスタを活用する場合がある。

1.4.代理店倉庫入れ



(現状)
代理店から代理店倉庫に現品が到着した連絡を電話、FAXでもらう。

(EDI活用)
代理店倉庫に現品が到着した情報を代理店から出荷案内を受信して確認する。

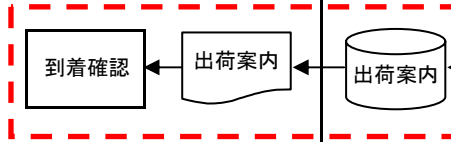
(効果)
・代理店倉庫入れされた手配可能な在庫として、把握できる。

処理説明

(出荷案内)

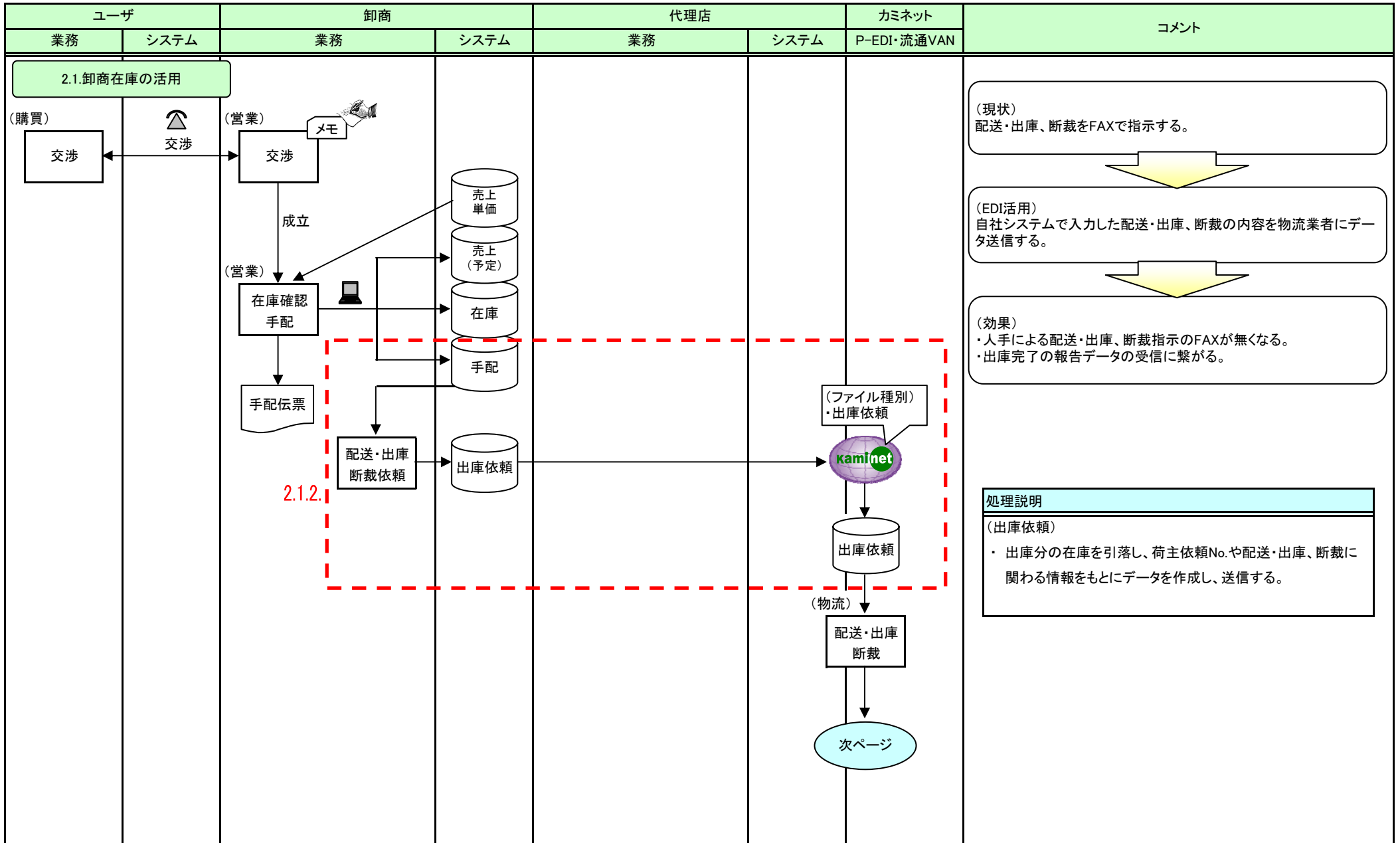
- ・注文No.、納期、納入先、仕入先、数量、(単価)などをもとに代理店倉庫入れとして判断し、伝要を出力する。

1.4.1.



活用事例

業務名 2.受発注



(現状)
 配送・出庫、断裁をFAXで指示する。

↓

(EDI活用)
 自社システムで入力した配送・出庫、断裁の内容を物流業者にデータ送信する。

↓

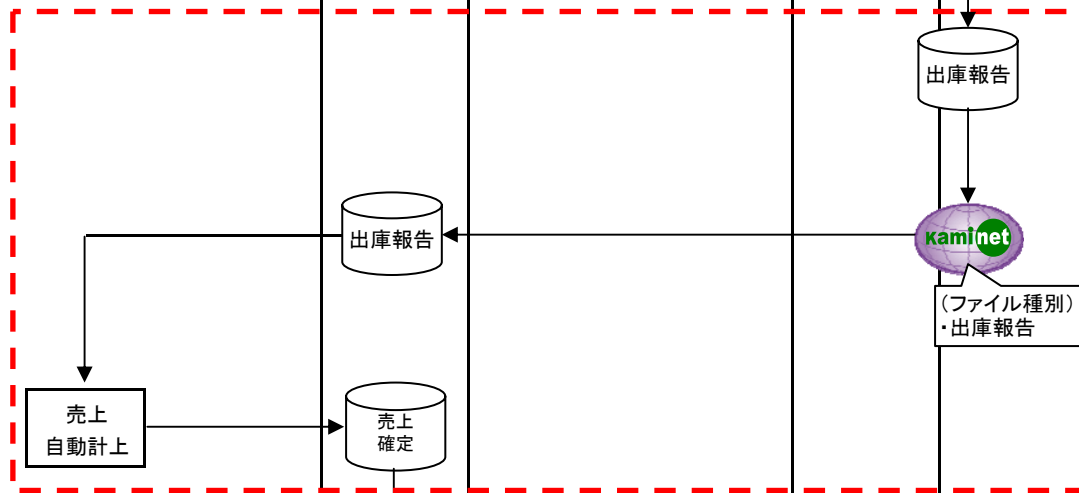
(効果)
 ・人手による配送・出庫、断裁指示のFAXが無くなる。
 ・出庫完了の報告データの受信に繋がる。

処理説明

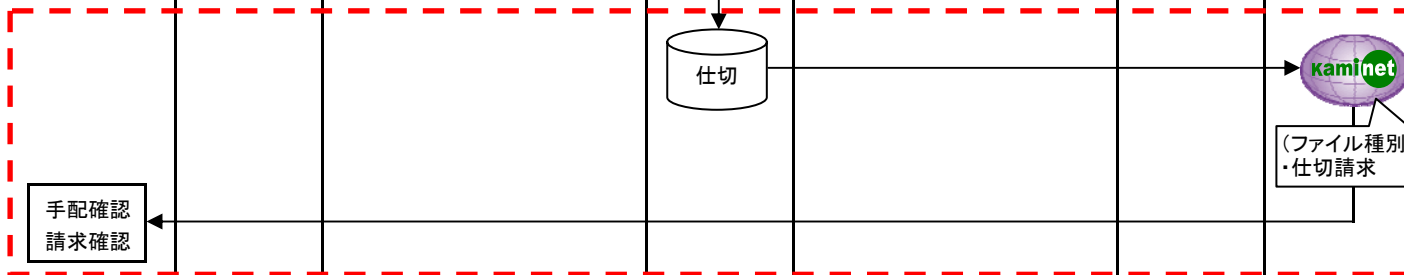
(出庫依頼)
 ・出庫分の在庫を引落とし、荷主依頼No.や配送・出庫、断裁に関わる情報をもとにデータを作成し、送信する。

2.1.卸商在庫の活用

2.1.1.



2.1.3.



(現状)
2.1.1.自社システムに手入力で売上を計上する。
2.1.3.仕切書を出力し、ユーザに郵送、または、営業が届ける。



(EDI活用)
2.1.1.物流から出庫完了の報告データを受信して売上を自動計上する。
2.1.3.仕切データをユーザに送信する。

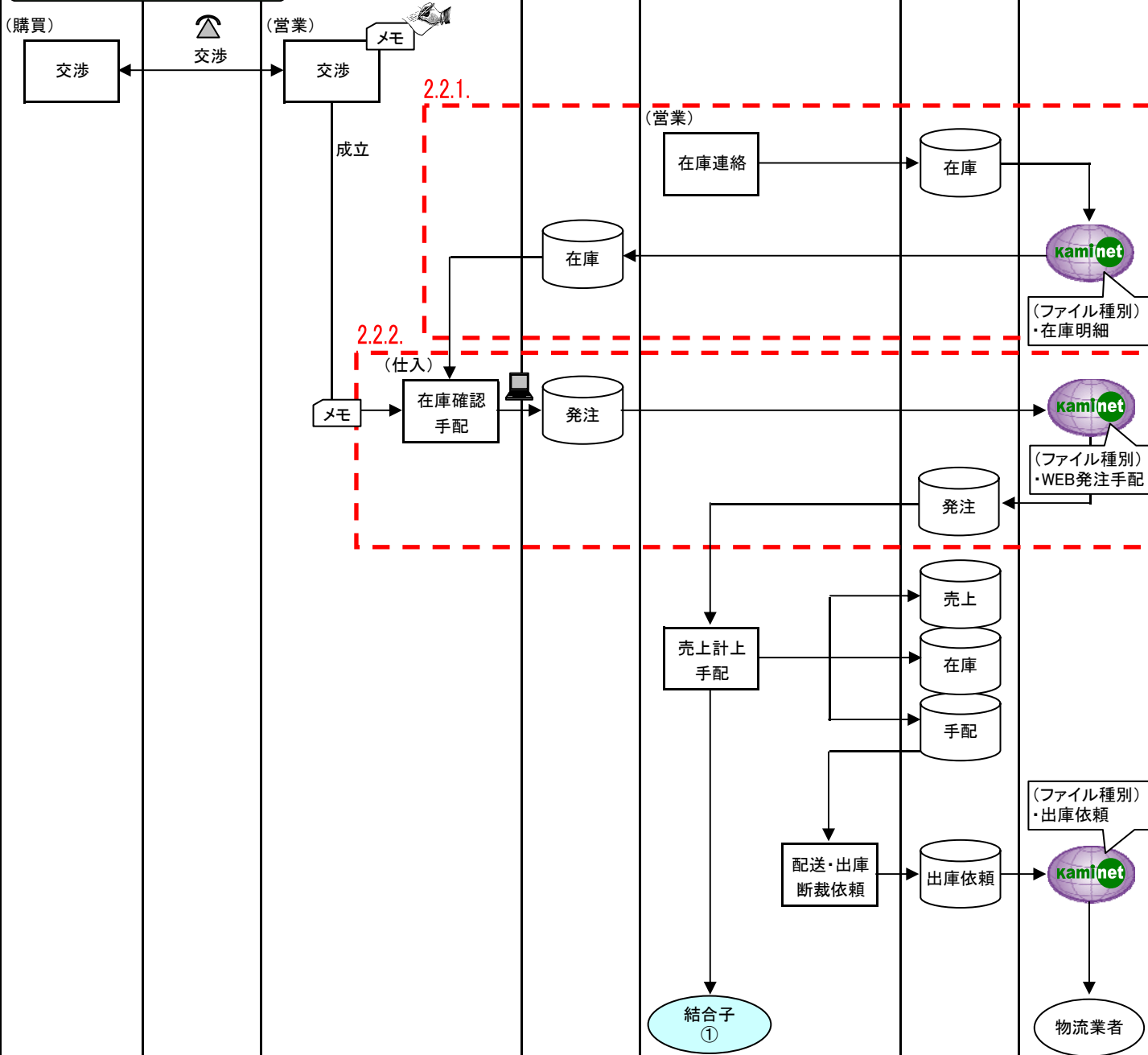


(効果)
2.1.1.売上を自動で計上できる。
2.1.1.ユーザと共通認識できるNo.をキーに売上計上することで、支払明細を自動照合することができる。
2.1.3.ユーザが仕切データを活用できる。
2.1.3.仕切書の廃止に繋がる。

処理説明

- (出庫報告)
- 荷主依頼No.などを活用して売上を自動計上する。
- (仕切請求)
- 前日発生した売上(請求分)を送信する。

2.2.代理店在庫の活用



(現状)
 2.2.1.在庫の確認を電話、FAXで行う。
 2.2.2.物流に関する各条件を交渉し、発注を電話、FAXで行う。



(EDI活用)
 2.2.1.在庫の情報をデータで受信して、手配可能な在庫を確認する。
 2.2.2.物流に関する各条件を指定し、発注内容を代理店に送信する。



(効果)
 2.2.1.在庫確認の手間が無くなる。
 2.2.1.在庫情報をもとに発注することができる。
 2.2.2.注文No.を付与することで、請求書の照合に活用できる。

処理説明
(在庫明細) ・ 在庫情報を受信し、品名、代理店、倉庫、在庫区分をキーに画面展開や帳票を出力する。
(発注) ・ 注文No.、製品情報、数量、納入先、納入日などを指定して、発注する。

2.2.代理店在庫の活用(オンラインサービス)

(購買)

(営業)

交渉



交渉

交渉



メモ

成立 2.2.3.

(仕入)

メモ

在庫確認
手配



kaminet

在庫確認
手配

売上
在庫
手配

配送・出庫
断裁依頼

出庫依頼

(ファイル種別)
・出庫依頼

kaminet

結合子
①

物流業者

(現状)
2.2.3.在庫確認や物流に関する各条件を電話、FAXで交渉し、発注する。



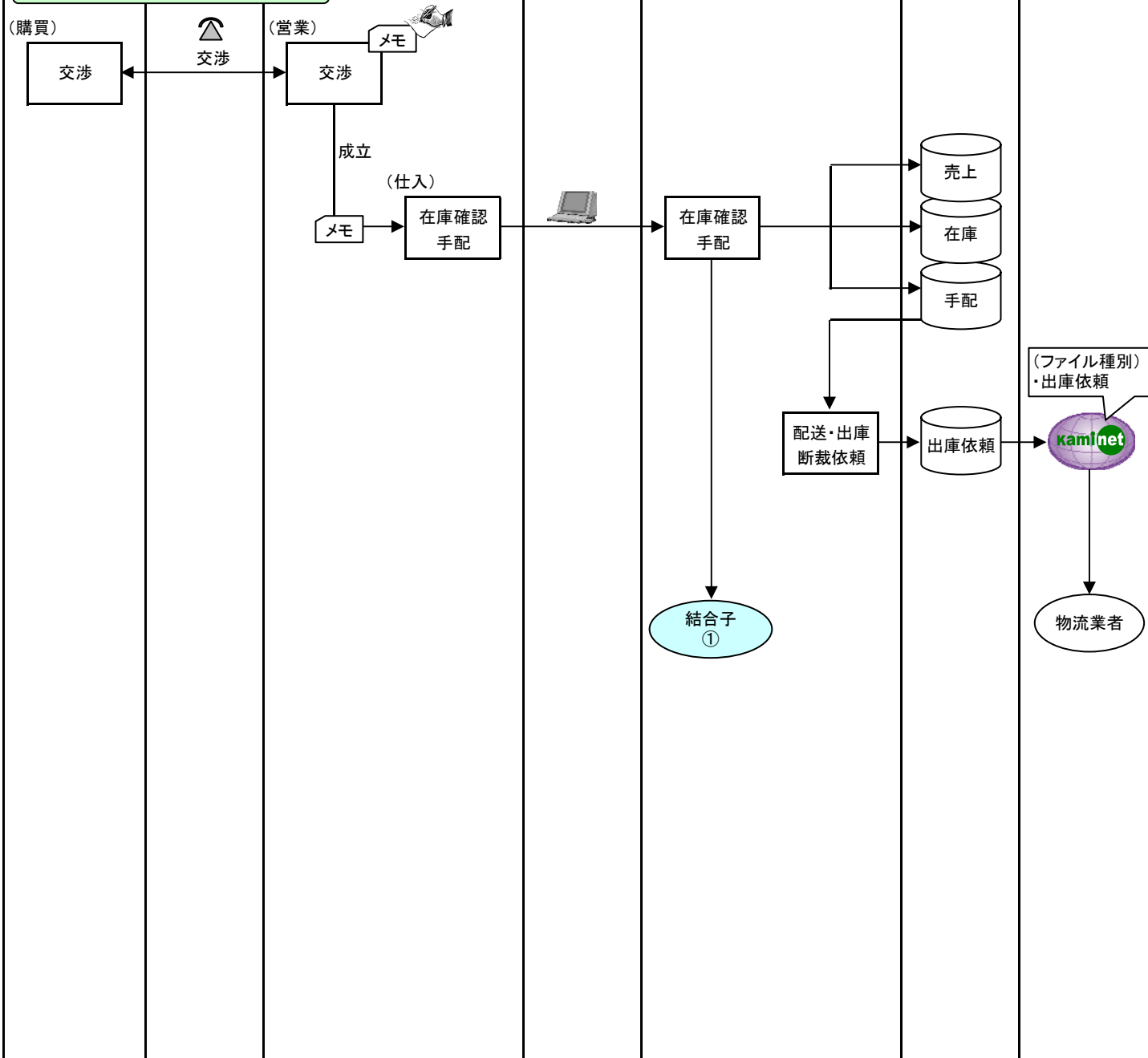
(EDI活用)
◆ホスト
・自社で開発した画面から在庫を確認し、物流の各条件を指定して、発注する。
◆WEB端末
・オンラインサービスのWEB画面から在庫を確認し、物流の各条件を指定して、発注する。



(効果)
・在庫をリアルタイムに確認できる為、問合せの手間が無くなる。
・注文No.を付与することで、請求書の照合に活用できる。

処理説明
(オンラインサービス)
1. 接続方式
1) ホスト接続
・ カミネットを経由したシステム間の接続を行い、各業務単位に計上処理、手配処理との連携を行う。
2) WEB端末接続
・ カミネットの専用画面からログインし、在庫確認、手配を行う。

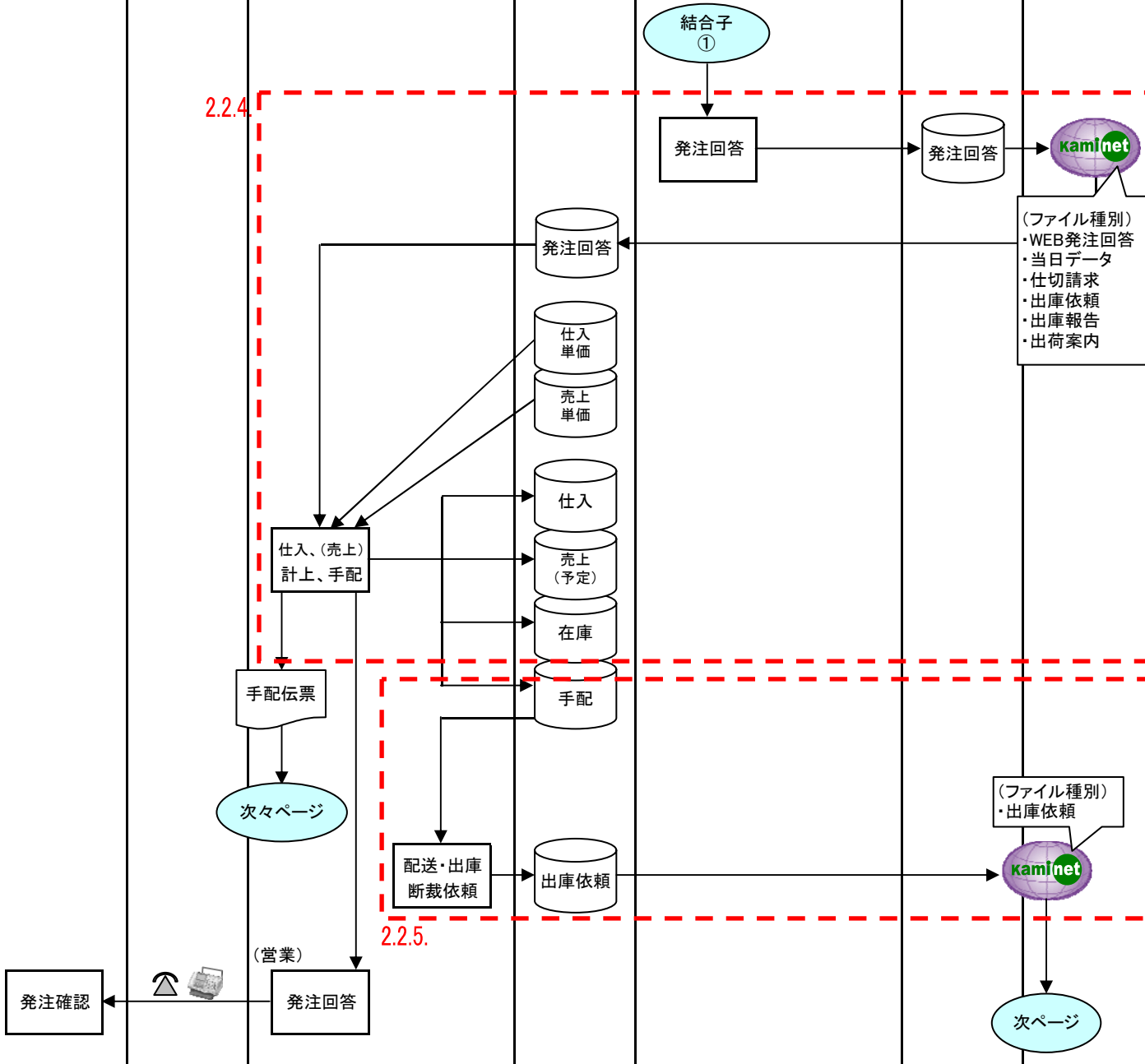
2.2.代理店在庫の活用(専用ネット)



2.2.代理店在庫の活用(共通)

2.2.4.

2.2.5.

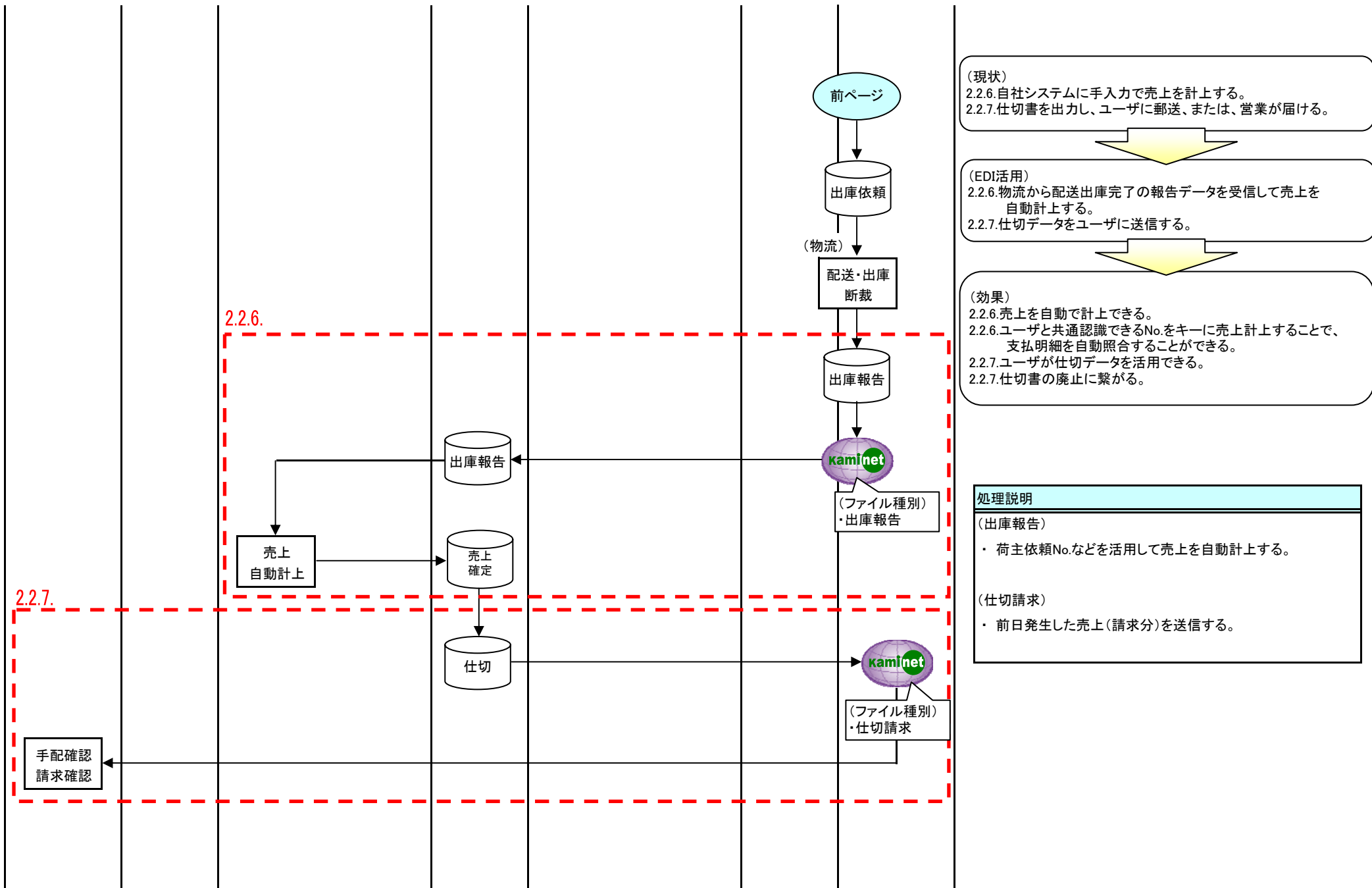


(現状)
2.2.4.発注が成立後、自社システムに手入力で仕入、在庫、(売上)を計上する。
2.2.5.配送・出庫、断裁をFAXで指示する。

(EDI活用)
2.2.4.発注回答データを受信し、仕入、在庫、(売上)を自動計上する。
2.2.5.自社システムで入力した配送・出庫、断裁の内容を物流に送信する。

(効果)
2.2.4.仕入、在庫、(売上)を自動で計上できる。
2.2.5.人手による配送・出庫、断裁指示のFAXが無くなる。
2.2.5.出庫完了の報告データの受信に繋がる。

処理説明
(発注回答)
・ 発注回答を受信して、発注のOK、NG、数量変更の内容を確認する。
・ 注文No.、納期、納入先、仕入先、数量、(単価)などをもとに自社の売上単価、仕入単価マスタと連携して、売上と仕入を自動計上する。
(出庫依頼)
・ 出庫分の在庫を引落とし、荷主依頼No.や配送・出庫、断裁に関わる情報をもとにデータを作成し、送信する。



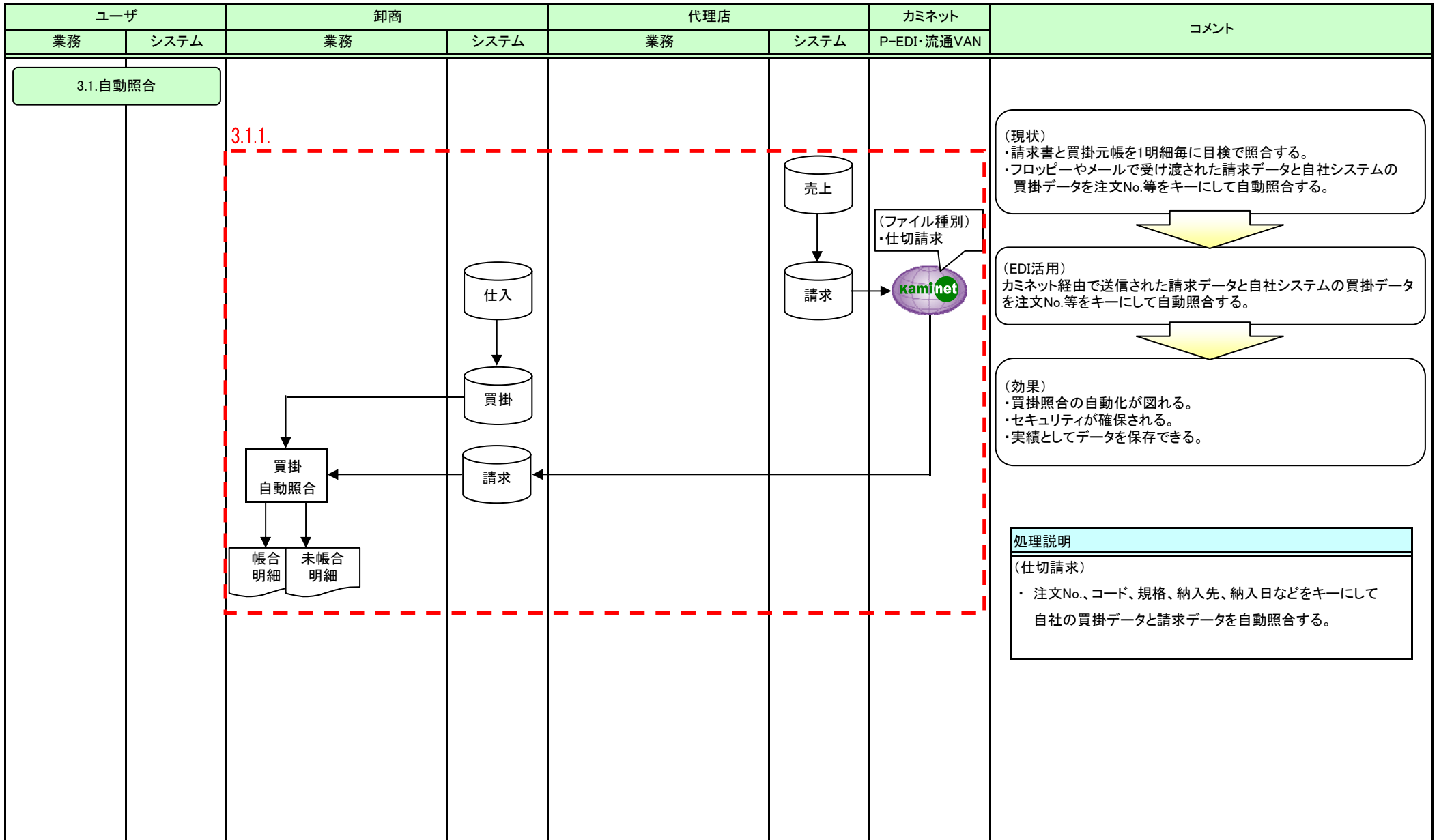
(現状)
2.2.6.自社システムに手入力で売上を計上する。
2.2.7.仕切書を出力し、ユーザに郵送、または、営業が届ける。

(EDI活用)
2.2.6.物流から配送出庫完了の報告データを受信して売上を自動計上する。
2.2.7.仕切データをユーザに送信する。

(効果)
2.2.6.売上を自動で計上できる。
2.2.6.ユーザと共通認識できるNo.をキーに売上計上することで、支払明細を自動照合することができる。
2.2.7.ユーザが仕切データを活用できる。
2.2.7.仕切書の廃止に繋がる。

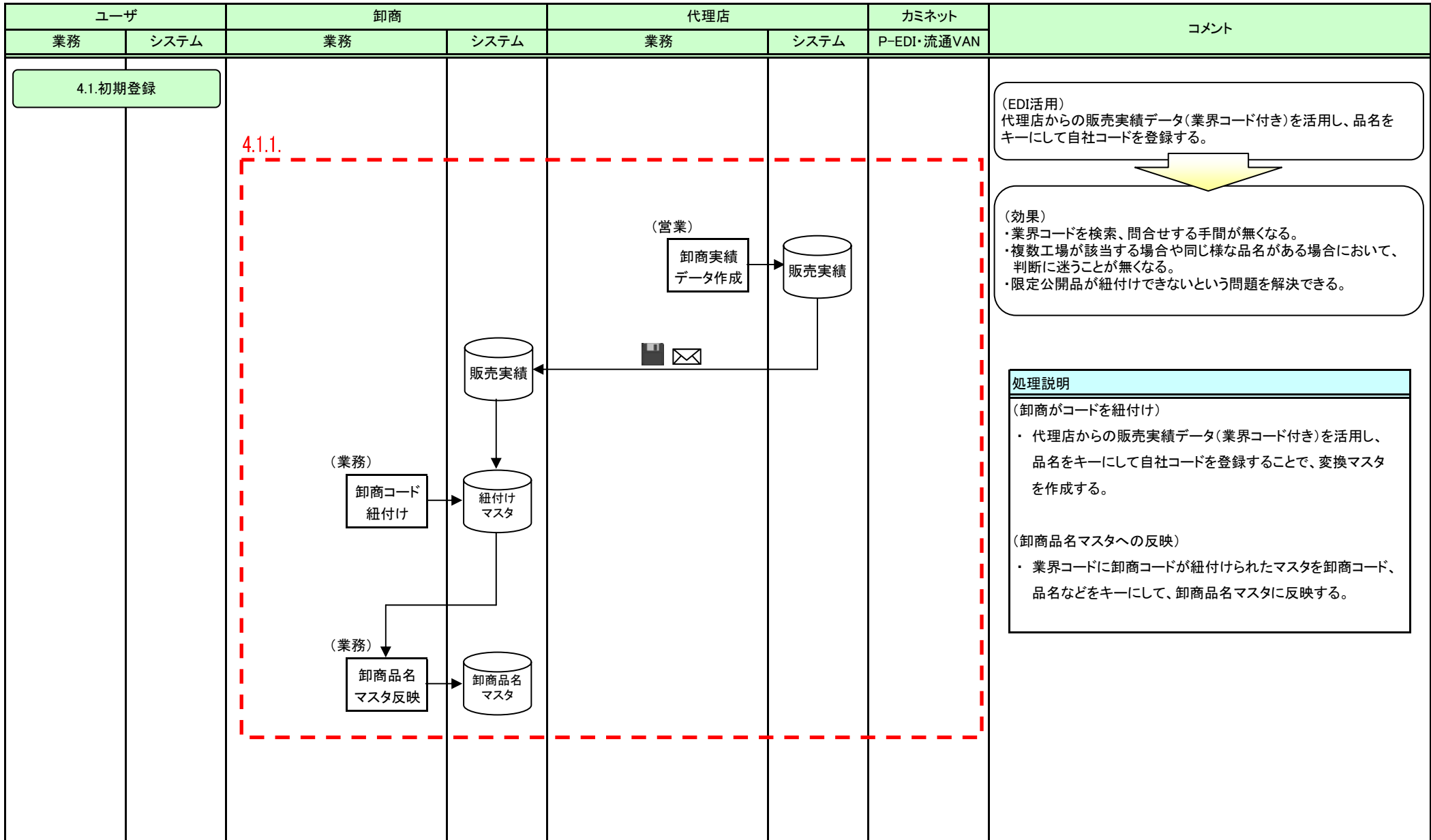
活用事例

業務名 3.買掛照合

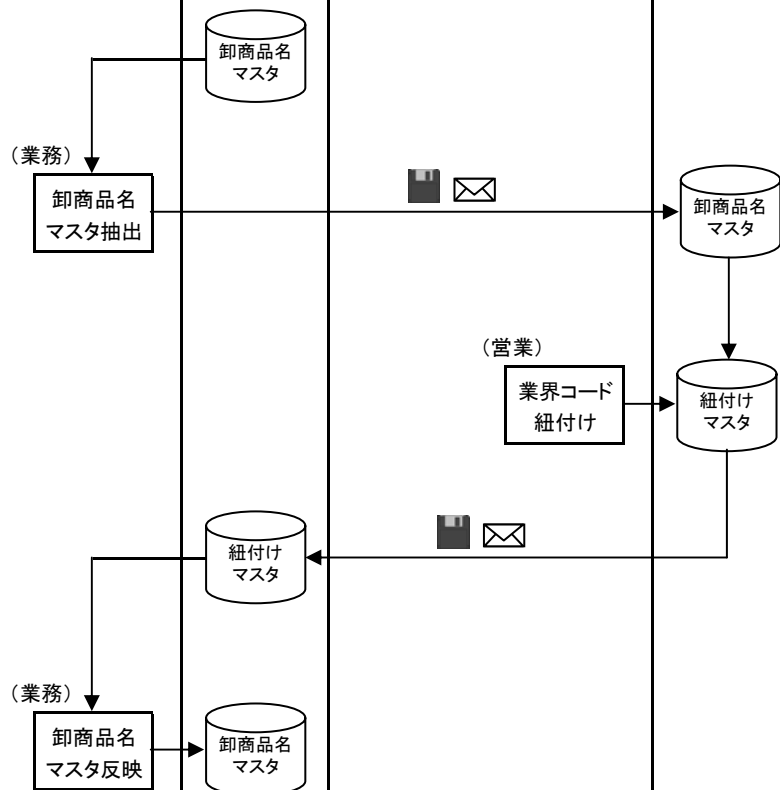


活用事例

業務名 4.コード運用



4.1.2.



(EDI活用)
 自社システムから卸商品名マスタを抽出し、代理店に業界コードの紐付けを依頼する。



(効果)
 ・業界コードを検索、問合せする手間が無くなる。
 ・複数工場が該当する場合や同じ様な品名がある場合において、判断に迷うことが無くなる。
 ・限定公開品が紐付けできないという問題を解決できる。

処理説明

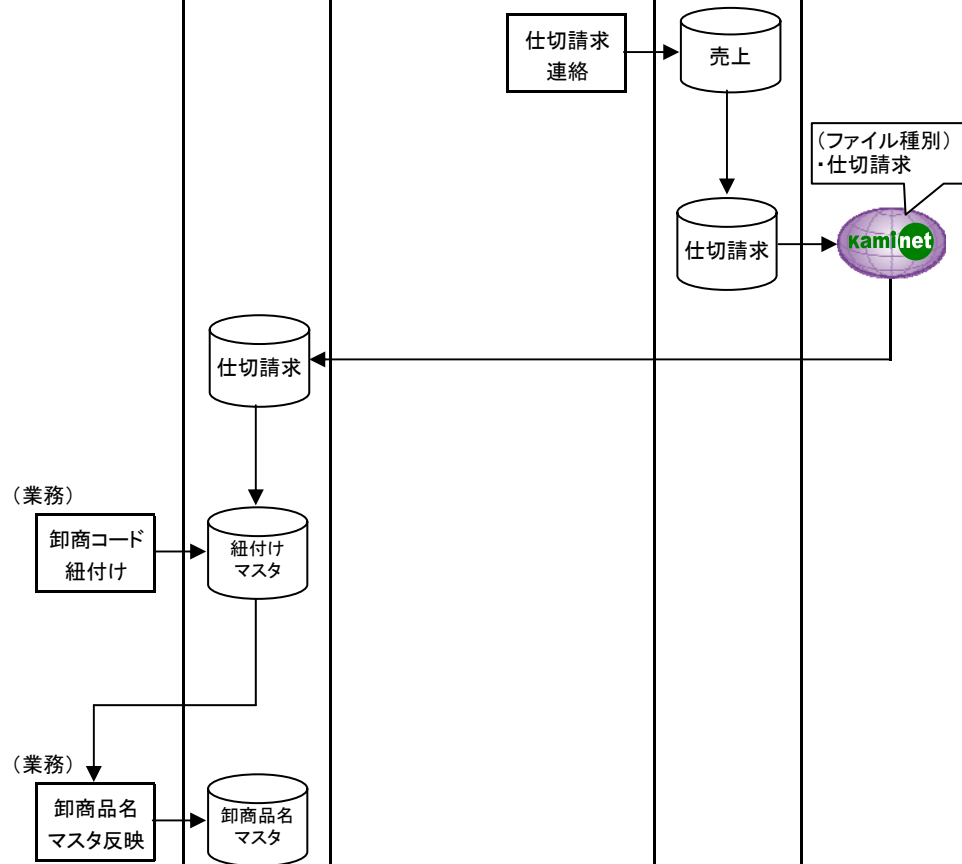
(代理店がコードを紐付け)

- ・ 自社システムから卸商品名マスタを抽出し、代理店に業界コードの紐付けを依頼する。

(卸商品名マスタへの反映)

- ・ 卸商コードに業界コードが紐付けられたマスタを卸商コード、品名などをキーにして、卸商品名マスタに反映する。

4.2.1.



(EDI活用)
代理店からの仕切請求データを活用し、注文No.などをキーにして卸商コードと業界コードを紐付ける。



(効果)
 ・業界コードを検索、問合せする手間が無くなる。
 ・複数工場が該当する場合や同じ様な品名がある場合において、判断に迷うことが無くなる。
 ・限定公開品が紐付けできないという問題を解決できる。

処理説明
(日常の紐付け) ・代理店からの仕切請求データを活用し、注文No.などをキーにして卸商コードと業界コードを紐付ける。
(卸商品名マスタへの反映) ・業界コードに卸商コードが紐付けられたマスタを卸商コード、品名などをキーにして、卸商品名マスタに反映する。